



2023年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社 自重堂

上場取引所 東

コード番号 3597 URL <https://www.jichodo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出原 正信

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部長 (氏名) 富山 英朗

TEL 0847-51-8111

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第1四半期の連結業績(2022年7月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	4,868	26.1	710	46.6	1,031	98.0	687	52.0
2022年6月期第1四半期	3,861	6.0	484	16.0	520	43.6	452	81.8

(注) 包括利益 2023年6月期第1四半期 742百万円 (27.4%) 2022年6月期第1四半期 583百万円 (142.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	238.59	
2022年6月期第1四半期	156.94	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	40,135	34,919	87.0
2022年6月期	40,068	35,041	87.5

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 34,919百万円 2022年6月期 35,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期		0.00		300.00	300.00
2023年6月期					
2023年6月期(予想)		0.00		300.00	300.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	4.8	2,250	1.6	2,350	22.1	1,600	43.6	555.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期1Q	2,882,848 株	2022年6月期	2,882,848 株
期末自己株式数	2023年6月期1Q	151 株	2022年6月期	142 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期1Q	2,882,699 株	2022年6月期1Q	2,882,901 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(当連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年7月1日～2022年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、活動制限が緩和され、社会経済活動の正常化に向けた動きがみられました。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、原材料・エネルギー価格の高騰、急速な円安の進行等に起因した物価の上昇により、企業、個人ともに消費活動の停滞が懸念され、景気の先行きは持ち直しが期待されるものの、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、原材料価格の上昇や急速な円安の進行による仕入価格の上昇、物流コストの上昇などのコストアップに対応するため、2022年10月出荷分から販売価格の値上げを行うこととし、販売代理店様・ユーザー様への説明・周知に努めました。2022年7月～9月の当第1四半期連結累計期間において値上げ前の前倒し需要が発生しましたが、ワークウェア業界全体の傾向として、中国のゼロコロナ政策の影響などによる納期遅延により商品が揃わず、販売代理店様・ユーザー様への納品に苦戦する中、当社においては豊富な在庫により納期遅延の影響を最小限に留め、値上げ前の前倒し需要にも対応できたことから、大きく売上を伸ばしました。また、猛暑の影響により、電動ファン付ウェア「空調服」や、冷感素材を使用したコンプレッションなど、夏物商品が好調に推移いたしました。

「JICHODO(ジチョウドウ)」ブランドにおいては、昨今注目を集めているSDGsに貢献できる環境配慮型商品の品揃えを強化するとともに、機能性の高い商品を幅広く取り揃え、ユーザー様のそれぞれの作業環境に適応する商品を的確に提案することにより、企業向けユニフォームの更新物件の掘り起こし、新規物件の獲得に努めてまいりました。「Jawin(ジャウイン)」ブランドにおいては、イメージキャラクターである新庄剛志氏の「BIGBOS」効果を積極的に活用し、販売代理店様の店頭やWEBサイト上で、ブランド認知度の更なる向上と売上・シェアの拡大を図ってまいりました。「Z-DRAGON(ジードラゴン)」ブランドにおいては、スタイリッシュな「かっこいい」デザイン性と、ストレッチ性などワークウェアとしての機能性を兼ね備えた商品の展開を強化し、ファッションに敏感な個人ワーカーのみならず、企業向けユニフォームの受注拡大に注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は、2022年10月からの値上げ前の前倒し需要や、猛暑の影響により電動ファン付ウェア「空調服」をはじめとする夏物商品が好調に推移したことなどにより、4,868百万円(前年同四半期比26.1%増)と大きく売上を伸ばしました。営業利益については、仕入価格の上昇により粗利率は若干低下したものの、自社倉庫への商品在庫の集約を進め、業務効率化と経費削減に努めたことなどにより、710百万円(前年同四半期比46.6%増)となりました。経常利益は、輸入取引に係る為替変動リスクをヘッジする目的で行っております為替予約取引に係る時価評価によるデリバティブ評価益が円安の進行に伴い増加したことなどにより、1,031百万円(前年同四半期比98.0%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は687百万円(前年同四半期比52.0%増)となりました。

なお、当社グループは単一セグメントに該当するため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ66百万円増加し、40,135百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ143百万円増加し、29,453百万円となりました。これは主に、現金及び預金が388百万円、受取手形及び売掛金が119百万円、原材料費及び貯蔵品が507百万円、それぞれ増加したことと、商品及び製品が598百万円、流動資産その他が278百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ76百万円減少し、10,681百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ149百万円増加し、4,085百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が513百万円、流動負債その他が124百万円、それぞれ増加したことと、未払法人税等が364百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ39百万円増加し、1,129百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ121百万円減少し、34,919百万円となりました。これは主に、利益剰余金が177百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、景気の先行きは不透明な状況が続くものと思われませんが、2022年8月10日発表の2023年6月期通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、今後状況が大きく変動するなど、連結業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,118,621	9,507,341
受取手形及び売掛金	4,633,481	4,752,616
商品及び製品	13,224,998	12,626,000
仕掛品	3,150	6,102
原材料及び貯蔵品	1,796,804	2,304,796
その他	535,394	257,071
貸倒引当金	△2,277	△459
流動資産合計	29,310,174	29,453,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,700,213	1,670,252
土地	3,958,667	3,958,667
その他(純額)	374,844	361,169
有形固定資産合計	6,033,725	5,990,089
無形固定資産		
無形固定資産	25,357	24,215
投資その他の資産		
投資有価証券	2,408,657	2,479,484
関係会社出資金	115,901	124,663
繰延税金資産	109,703	14,993
その他	2,115,640	2,101,263
貸倒引当金	△50,650	△52,804
投資その他の資産合計	4,699,252	4,667,600
固定資産合計	10,758,336	10,681,905
資産合計	40,068,511	40,135,373

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,623,079	3,136,657
未払金	382,173	293,933
未払法人税等	679,569	314,677
賞与引当金	102,262	66,222
その他	149,391	274,082
流動負債合計	3,936,475	4,085,573
固定負債		
退職給付に係る負債	534,238	541,286
繰延税金負債	—	32,694
その他	556,028	555,948
固定負債合計	1,090,267	1,129,929
負債合計	5,026,742	5,215,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,982,499	2,982,499
資本剰余金	1,827,189	1,827,189
利益剰余金	29,338,915	29,161,884
自己株式	△985	△1,042
株主資本合計	34,147,619	33,970,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	863,656	912,802
為替換算調整勘定	9,427	17,128
退職給付に係る調整累計額	21,065	19,408
その他の包括利益累計額合計	894,149	949,339
純資産合計	35,041,768	34,919,871
負債純資産合計	40,068,511	40,135,373

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
売上高	3,861,002	4,868,694
売上原価	2,595,258	3,443,895
売上総利益	1,265,744	1,424,798
販売費及び一般管理費	781,379	714,494
営業利益	484,364	710,303
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,937	3,767
為替差益	4,779	88,974
デリバティブ評価益	5,454	179,801
持分法による投資利益	1,083	1,060
受取賃貸料	19,434	8,228
その他	10,487	41,916
営業外収益合計	44,177	323,748
営業外費用		
賃貸収入原価	6,833	2,721
その他	867	—
営業外費用合計	7,701	2,721
経常利益	520,840	1,031,330
特別利益		
保険解約返戻金	—	41,715
特別利益合計	—	41,715
特別損失		
固定資産除却損	—	0
保険解約損	—	6,985
特別損失合計	—	6,985
税金等調整前四半期純利益	520,840	1,066,060
法人税、住民税及び事業税	95,196	271,805
法人税等調整額	△26,794	106,474
法人税等合計	68,401	378,279
四半期純利益	452,438	687,781
親会社株主に帰属する四半期純利益	452,438	687,781

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	452,438	687,781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	125,545	49,146
為替換算調整勘定	6,168	7,701
退職給付に係る調整額	△929	△1,656
その他の包括利益合計	130,784	55,190
四半期包括利益	583,223	742,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	583,223	742,971

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(当連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2021年7月1日 至 2021年9月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 2022年7月1日 至 2022年9月30日）

当社グループは、衣料品製造販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。